

Deus Ex Machina

作詞・作曲・編曲：氷上亮

貧しい暮らしはいつの日か
まだ幼い瞳を暗く染めた

小鳥の歌も聴こえない程
飢えた少年の前に
ギラギラと光浴びて輝いた金貨

歪んだ法廷の審理
釣り合うはずの罪と罰
一度裁かれたならば
もう元には戻れないだろう
小さな星空を
切り裂いた鉄格子

わずかな間違いだったとしても
もう無数の刃止められない

正義の旗を掲げて叫ぶ
偽善者たちのサバト

歪んだ法廷の審理
釣り合うはずの罪と罰
それを見下ろすあなたも
そういつかは思い知るだろう
星空の彼方に
伸ばした手掴めずに

失うものは何もないけど
魂だけは今も
ギラギラと茜色に輝いて歌う

その時、光が差して
回り始めた万華鏡
赤く青く混ざりゆく
そう全てを飲み込む
オーバーライト

欲に塗れた有象無象も
全部、今生まれ変わる

歪んだ法廷の審理
裁く正しき神の声
砕け散る絶望の城
もう何にも縛られはしない
星空の絨毯が
どこまでも広がって

手にした自由の灯を掲げて笑う